

# 第一天使の使命「神のさばきの時は来た」①

## 1. 神はさばかれる

伝道 11:9 すべてのことをさばかれる。

12:4 善悪ともにさばかれる。

なぜ？神は義の神でもあられる。公平を愛される神。

伝道 7:15 わたしはこのむなしい人生において、もろもろの事を見た。そこには義人がその義によって滅びることがあり、悪人がその悪によって長生きすることがある。

詩篇 73:1-16 悪しき者の栄え、高ぶる者が成功するように見える。不公平に悩む？

へブル 11:32-39 多くの義人は迫害、殉教してきた。

・この地上のどこであの忠実なヘテ人、ウリヤの潔白さが報いられたであろうか。(王に妻を奪れ、戦場の前線に送られ殺された)。

・あの悪名高い、残酷なネロ、ヒットラーはどこでさばかれたらろうか。善人と悪人たちのさばきがなされずに、報いを受けずにそのまま放置されていいだろうか？義なる神はそれを許さない！人間の良心もそれをゆるされない！さばきは必要だろうか？誰が裁くか？神だけが正しい公平な裁きをなさる資格を持っておられる。正義は最後の決算の日を要求している。

しかし、義で公平な神は良きことをする者に報いを与え、悪しき者に罰を与えられる！ローマ 2:6-9

なぜ、人々はもっぱら悪を行うか？

① 神をおそれないから

② すみやかにさばかれないから

伝道 8:11 悪しきわざに対する判決がすみやかに行われないうちに、人の子らの心はもっぱら悪を行うことに傾いている。

## 2. いつ、神はさばかれるか？

へブル 9:27 死んで後

アダムや死んだ人は死後さばかれたか？

使徒 17:31 「神は、義をもってこの世界をさばくためその日を定め、お選びになったかたによってそれをなし遂げようとされている。すなわち、このかたを死人の中からよみがえらせ、その確証をすべての人に示されたのである」。

## 3. さばきの種類と時：

① 再臨前さばき—調査審判—義人のため

1ペテロ 4:17 さばきが神の家から始められる時がきた。それが、わたしたちからまず始められるとしたら、神の福音に従わない人々の行く末は、どんなであろうか。

② 再臨の時—執行審判 黙示録 22:12 「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれにのしわざに応じて報いよう。

③ 千年期—悪人の調査審判、黙示録 20:4、6、1コリント 6:2、3

④ 千年期の終わり—悪人の執行審判、黙示録 20:9

## 4. 再臨前調査審判はいつから始まるか？

①ダニエル 7:9、10、22、25 ローマの1260年のヨーロッパ支配が終わって後に。

つまり、1798年の後

②いつか？ ダニエル 8:14 聖所の清め=裁きの時 出 23:29

「2300の夕と朝(日)の間である。そして聖所は清められてその正しい状態に復する」。

▲ 預言の計算：1日=1年→2300年

いつから 2300 年か？ 答えはダニエル 9:24 「エルサレムを立て直せ」とう法令が出てから。

紀元前 457～1844 年!!!

▲ 紀元前 457 年から聖所を清める働き＝贖いの日が 2300 回繰り返された 1844 年のユダヤ歴 7 月 10 日＝今日の 10 月 22 日でもあった。

③黙示録 14 : 7 「裁きの時は来た」 ウイリアム・ミラーたちの運動

- ・キリストの再臨＝裁きの時とした。1844 年。
- ・大失望→天の聖所の清めと理解。天の法廷で行われる調査審判と理解。
- ・再び**大再臨運動が展開 (黙示録 10:11)**

1844 年 10 月 22 日の重要性 :

① 神の民は天の至聖所に**契約の箱**を見た。黙示録 11:19

・エジプトを出たイスラエルの民がシナイ山で十戒が与えられ、イスラエルは国家として神との契約を結んだ。霊的イスラエル(女の残りの子ら＝最後の真の教会) が生まれる。黙示録 12:17

・十戒の重要性に覚醒 黙示録 12:17、14:12

一般キリスト教会は福音は、十字架で律法を不必要にしたという。一度キリストを信じたら、永遠の救いと教える。ローマ書は「信仰による服従」を教え、「信仰のゆえに律法を律法を無効にするか、断じてそうではない。かえってそれによって律法を確立するのである」と教えている。ローマ 1:5、16:25、3:31。

・十戒の第四条の安息日の戒めの重要性＝第七日目安息日 黙示録 14:7

・神を畏れることは、戒めを守ることであること(伝道 12:13) 戒めの一つでも破ることは、全体を破ることと同じであることを知る。ヤコブ 2:10。

・神に栄光を帰すためには、健康でなければならないことの使命 1 コリント 10:31、6:20

・靈魂不滅説の非を知った。調査審判があつて、再臨の時にそれぞれの行いに応じて報いが与えられることが分かった。死んだらすぐ報いが与えられ、昇天するのではない。再臨の時まで眠るのである。

・「イエスの証＝預言の霊」が与えられた。黙示録 12 : 17、19 : 10

∴こうして第一天使の使命に永遠の福音を見た。神は「女の残りの子ら＝真の教会」と契約関係に入ったのである。地球最後のメッセージを見た。この永遠の福音を拒んだ一般諸教会は、「バビロン」となった。詳しくは「**第二天使の使命**の研究」で学ぶ。

**第三天使の使命**に、彼らは偽りの福音を「獣とその像とその刻印」を全世界に強要する勢力が真の福音の前に立ちあがることを見た。全世界を襲う恐るべき大欺瞞を警告する責任が託された。

・**人類の運命を決定する調査審判、最後のあがないの働きが始まった!**

**十字架で始まった働きが完成される最後の局面、恩恵期間の最終段階に入った!**

② 第一、第二、第三天使の使命が結合されて(三重の使命)、最後の教会が立ち上がり、1863 年に「セブンスデー・アドベンチスト教会」と組織される。

③ 1844 年にサタンは三重の使命に猛攻撃を仕掛け始めた。

- ・ダーウインの進化論誕生
- ・共産主義・無神論の誕生
- ・聖書への攻撃—近代聖書本文批評学
- ・偽預言者
- ・近代心霊術
- ・秘密結社、フリーメイソン/イルミナチの働き

## 5. 神の裁き

### ▲ 神の義はすべての人の裁きを要求する。

伝道 3 : 17 神は正しい者と悪い者とをさばかれる。神はすべての事と、すべてのわざに、時を定められたからである。

### ▲ 神の義は徹底的なさばきを要求している。

- ・行い—神は、おのおのに、そのわざにしたがって報いられる。ローマ 2 : 6
- ・言葉—あなたがたに言うが、審判の日には、人はその語る無益な言葉に対して、言い開きをしなければならないであろう。マタイ 12 : 36
- ・思い—彼らの思いは互いに責め合ったり、また、弁明し合ったりしています。私の福音によれば、神のさばきは、神がキリスト・イエスによって人々の隠れたことをさばかれる日に、行なわれるのです。ローマ 2:15,16

神はすべてのわざ、ならびにすべての隠れた事を善悪ともにさばかれるからである。伝道 12 : 4

- ・動機—主は暗い中に隠れていることを明るみに出し、心の中で企てられていることを、あらわにされるであろう。その時には、神からそれぞれほまれを受けるであろう。1 コリント 4 : 5

神は銀行強盗や姦淫を犯した者をさばくばかりでなく、もし機会があったならこれらのことをするはずの人たちもさばかれるのである。

### ▲ 神の義は不変な律法にもとずいてさばきを要求する。

- ・神の性質が義である。神はきままなさがき方をなさない。義と聖なる律法によってさばかれる。律法はひいきせず、人をかたよりみない。ローマ 2 : 11-14、ヤコブ 2 : 10-12
- ・律法は霊的なものであり、心の深いところまで見分けることができる。ローマ 7 : 14
- ・律法はすべての好ましからざる欲望を罪に定める。ローマ 7 : 7、マタイ 5 : 28
- ・律法は何ものにまさって神を愛し、他人を愛することを要求する。マタイ 22 : 37-39
- ・律法は律法を行う人、しかもすべての律法を行う人のみを義とする。詩篇 106 : 3

「なぜなら、律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである」ヤコブ 2 : 10

たとえば、人が 50%だけ正直だとしたら、ほんとに正直？ 90%正直だとしても正直と言えるか？ 彼がすべての状況において、100%正直でなければ正直とは言えない。だから、イエスは言われた。「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい」と。マタイ 5 : 48. 律法のすべてに、常に、完全に従うことに不足すれば罪である。

### ▲ 神の義はどんな罪人であっても刑罰を要求する。

- ・「罪の支払う報酬は死である」ローマ 6 : 23
- ・「しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である」黙示録 21 : 8

質問：

- ✓ 私は常に、すべてのことにおいて、神を初めとし、最後として神を愛しているだろうか？
- ✓ 私はすべての状況にあつて自分のように他人を愛しているだろうか？
- ✓ 私のすべて隠れた傾向は十戒と調和しているだろうか？ すなわち、忠義、誠実、崇敬、聖潔権威を敬う、生命の尊重、純潔、真実、正直、満足しているだろうか？ 十戒の積極的表現。
- ✓ 自分は罪がないといえるだろうか？

「もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言はわたしたちのうちにはない。ヤコブ 1:10

✓ もし、私が今死ねば私の生涯はさばきのテストに耐えられるだろうか？

・なぜ、聖書記者たちは次のように叫んだのであろうか？

イザヤ 6:5 「わざわいななるかな、わたしは滅びるばかりだ。わたしは汚れたくちびるの者で、汚れたくちびるの民の中に住む者であるのに、わたしの目が万軍の主なる王を見たのだから。」

64:6 「われわれの正しい行いは、ことごとく汚れた衣のようである」

ダビデ 「あなたのしもべのさばきにたずさわらないでください。生ける者はひとりもみ前に義とされないのです」 詩篇 143 : 2

パウロ 「すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなった」 ローマ 3 : 23

「わたしは罪人の頭である」 1 テモテ 1 : 15

### ▲ あなたは自分の生涯を神の義の標準に照らして、そのような感じを持つだろうか？

もしそうであるなら、すばらしいニュースがある!!!

・ルカ 5:31 イエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。

5:32 わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」。

・1 テモテ 1 : 15 「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世にきて下さった」という言葉は、確実に、そのまま受け入れるに足るものである。わたしは、その罪人のかしらなのである」

・1 テサロニケ 5 : 9 「神は、わたしたちを怒りにあわせるように定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによって救を得るように定められたのである」 第二の死はみ使いたちのためによりいされている。マタイ 25 : 41

・詩篇 130 : 3-5 「主よ、あなたがもし、もろもろの不義に目をとめられるならば、主よ、だれが立つことができますでしょうか。しかしあなたには、ゆるしがあるので、人に恐れかしくまれるでしょう。わたしは主を待ち望みます、わが魂は待ち望みます。そのみ言葉によって、わたしは望みをいただきます」

・ローマ 7 : 24 「わたしは、なんというみじめな人間なのだろう。だれが、この死のからだから、わたしを救ってくれるだろうか。わたしたちの主イエス・キリストによって、神は感謝すべきかな。

ローマ 8 : 1 「こういうわけで今やキリスト・イエスにあり、肉に従わず霊によって歩む者は罪に定められることがない」

どうしてそんなことがあり得るのだろうか？

1. キリストの全く罪のない生涯は我々のために律法の要求を満たした。

2. 十字架の死によって我々の罪の値を払ってくださった。それによって我々のために律法の要求を満たしてくださった。

救いは無償ですべての人に提供されている！ 悔い改めと信仰によって受け入れよう！ 使徒 20:21；詩篇 51 : 17

神の裁きの時は来た！間もなく天の法廷が閉鎖される。閉じられる前に恵みの座に出頭しよう！ヘブル 4 : 16、10 : 19-22

・新垣三郎先生の経験。

T 憲兵伍長を中心とした秘密愛国グループが捕虜収容所ないで結成された。T 憲兵伍長は若く、勇敢でとても魅力的な憲兵で、血気盛んな新垣三郎の様な青年たちを集めて軍国主義と愛国精神を吹き込んだ。彼らは日本は神の国だから絶対負けていないと洗脳されていた。アメリカかぶれしていると思われた有力な地位にある4名が暗殺リストにあげられ、18歳の三郎が選ばれ殺すことになる。ヘシウスという島民の刑事が調べていた。どんなに脅されても決して白状しない約束をしていた。ものすごい拷問。隣室のT伍長の声「二人で死のう。命令されたとは言わず、自分一人でやったと自白してくれ。私はスパイ行為をした罪で死刑。君は殺人罪で死刑。二人で国のために死のう」純粋な三郎は「はい」と答えた。そしてヘシウスに「私が二人を殺した」と白状する。「独断で一人でやっ」と主張し続ける軍事裁判において死刑確定！T伍長、無罪で帰国。「共に死のう」と約束したのにさっさと帰っていた。激怒と憎悪に燃え発狂しそう。誰に訴えても裁判はすべて終わっていた。「時はすでに遅し」